

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

TOPICS

💡 熱中症対策月1日から事業所に義務化

アラート発表有無・暑さ指数をこまめに確認

6月1日から、熱中症の重篤化による死亡災害を防止するための対策が、事業者には罰則付きで義務化されます。厚生労働省によると、熱中症は死亡災害に至る割合が他の災害の5～6倍とされており、そのほとんどは、初期症状の見逃しや対応の遅れが原因とされています。今後、気候変動の影響により、根性論だけでは到底太刀打ちできない危険なレベルの耐え難い暑さが、ますます増えていく懸念もあり、「暑さ指数」や「熱中症警戒アラート」について今一度内容を確認しながら万全の対策を講じるようにして下さい。

対象となる環境条件は、「WBGT(暑さ指数)28度以上または気温31度以上の環境下で連続1時間以上または1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業です。暑さ指数(WBGT)とは、人が体感として感じる温度で、気温以外に、「湿度」や「輻射熱(ふくしゃねつ)」も考慮した影響が計算されたものです。この暑さ指数(WBGT)が28度

を超えると、熱中症のリスクが急激に高まり、救急搬送者が急増するとされています。近年の日本の夏の状況から、現実には、夏季の屋外作業のほとんどがこの条件に該当すると考えられます。

環境省からは、日々各地点別に暑さ指数(WBGT)が発表されていますが、これは一つの代表地点の値であくまでも目安です。個々の地点の暑さ指数は、現実には環境によって大きく異なることがありますので、必ず周囲の暑さ指数(WBGT)を定期的にチェックしながら、身体への熱ストレスを把握して、出来る限り健康維持に努めましょう。

〈日本気象協会サイトより抜粋〉



【参考】厚生労働省サイト



普及啓発用資料
(リーフレット・ガイドライン等)
※中ほどに多言語版があります



職場における
熱中症対策の
強化について

MEMO

📝 ビジネスひと口メモ

PSF(プロBLEMソリューションフィット)



「Problem Solution Fit」の頭文字を取った言葉。顧客が抱えている問題や課題(プロBLEM)に対して「正しい解決策(ソリューション)を提示している状態」や「問題解決に向けて提供した商品やサービスがマッチ(フィット)している状態」を意味する。

まず顧客の課題を特定し、それに対する解決策を試作モデルとして開発。次に、顧客にこのモデルを使用してもらい、フィードバックを得ることで、実際に問題を解決できるかを検証。このプロセスを繰り返すことで、顧客のニーズに合った製品を磨き上げていく。

東大IPCでは、スタートアップ支援プログラムを通じて、研究者と起業家の連携を促進。これにより、大学発のイノベーションを社会に実装することを目指しているようです。



【参考】東大IPC

INFO

① 事務局より

セミナーのご案内

■ 内容

外国人材に関する基本セミナー【育成就労】編

■ 日時

2025年6月26日(木) 11:30～12:00

組合公式YoutubeチャンネルにてLive配信予定です。配信1週間前にメールにて詳細ご案内予定です。

▼公式チャンネルURL

<https://www.youtube.com/@JCPS-Coop/streams>

●外国人雇用に関する勉強会

技能実習制度・特定技能制度や外国人雇用に関するナレッジ勉強会を企業様に伺って実施いたします。ご興味のある企業様は、お気軽にお問い合わせください。6月は岡山三菱ふそう(株)様での実施を予定しております。